

プロテオグリカンE

MEDIENCE

動物抽出物シリーズ

イカ頭部軟骨抽出物100%

プロテオグリカンとは

プロテオグリカンとは、複合多糖類の一種であり、皮膚や軟骨に存在しております。保水性に優れており、肌の潤いや弾力を保ち、関節保護の役割を果たしております。

メディエンスの「プロテオグリカンE」は、イカの頭部軟骨から抽出しており、日本国内で85%以上（賦形剤不使用）まで精製を行うことで、他社と比較し高純度かつコストでも競争力のある原料を供給し続けております。

※ご希望のプロテオグリカン含有量に調整した、オリジナル原料の開発も承っております。

E型コンドロイチンの優位性

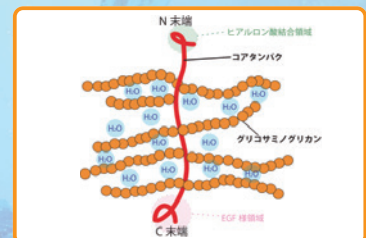
推奨量：プロテオグリカンとして5mg~/日(原料として6mg~/日)

「プロテオグリカンE」はイカ由来の「E型コンドロイチン」であり、他のコンドロイチンとは構造が異なるため、様々な活性が高いことが明らかになっております。

また、構造の末端にEGF(Epidermal Growth Factor)様領域を持っております。EGFは上皮細胞の分裂・増殖を促し、肌のターンオーバーを正常にする作用があり、加齢に伴い減少し老化現象を引き起こします。

A型	ブタ・ウシ・ニワトリ
B型	ブタ
C型	サメ・サケ
D型	ウナギ・サメ
E型	イカ

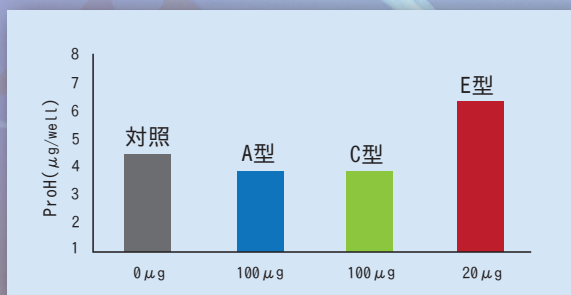
コンドロイチンの種類と由来



プロテオグリカンの構造

コラーゲンの産生

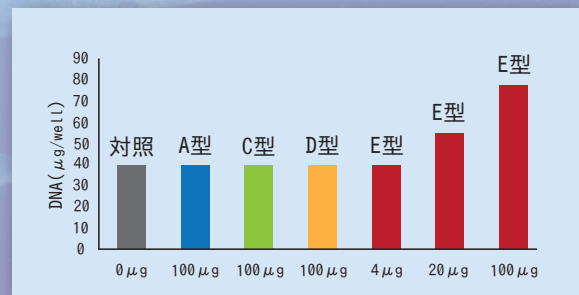
肌の潤いや弾力に必要とされているコラーゲンの産出量を測定した研究では、他のコンドロイチンと比較し、E型コンドロイチンでは細胞内のコラーゲン量が顕著に増加したことが明らかになっております。



各型コンドロイチンによるコラーゲンの産生比較

骨芽細胞の増殖

加齢に伴う関節などの痛みは、骨が脆くなり軟骨へ負荷が掛かることで生じます。骨の形成に関与する骨芽細胞の増殖に関する研究では、他のコンドロイチンと比較し、E型コンドロイチンでは骨芽細胞のDNA量が顕著に増加したことが明らかになっております。



各型コンドロイチンによる骨芽細胞の増殖比較

このような方へ

肌の潤いUP

関節痛の改善

毛髪の艶やボリュームUP

アンチエイジング